

# ひたちの文化

## 2 エッセイ⑪① 八木 健二さん

- 3 日立市文化少年団ご紹介⑤
- 3 日々を詠む⑩④ 短歌 榎村 奎子さん
- 4 My 仕事⑩③ 株式会社あかつ水産 渡部 恭史さん



## ふるさと探訪パートⅡ⑧⑤

- 6 デザインとの出会い② 後藤 弘文さん
- 7 常陸国まつり歩き④ 長江 慶治さん
- 8 新年最初のコンサートは“歌”で幕開け!



### 「雪の大雄院」

撮影：渡辺 義雄氏（日高町在住）

撮影場所：大雄院

かつて東洋一の大煙突と謳われた煙突から、今日もゆるやかに煙が立ち上る。

平成五年二月に約三分の一を残して倒壊した後も、今なお日立市を見守るようにそびえ立つ大煙突。その姿は、日本の近代化に伴い、発生した環境問題に対する一つの答えを指し示しているように思える。

銅の精錬工程で発生した亜硫酸ガスが農作物に深刻な被害を及ぼした時、日立鉱山は地域住民に真摯に向き合い、金銭補償と煙害対策を約束した。有効策を打ち出せない中で提案されたのが大煙突の建設である。立案時にはその効果を疑問視する意見も出たというが、日立鉱山の社長・久原房之助の決断で高さ百五十五・七メートルの煙突の建設が進められ、完成した大煙突によって日立鉱山近隣の煙害は大幅に緩和された。

また煙害によって荒廃した山間部では、日立鉱山が無償で提供したオオシマザクラの苗木などが植樹され、山は緑を取り戻した。桜の街・日立市としての現在につながるルーツが此処にある。

公害を引き起こした企業と被害を受けた住民。普通なら対立する存在の両者がお互いに誠意ある交渉を重ね公害問題の解決にあたったという史実は、全国的に見ても稀有なことである。煙害問題を棚上げせず真摯に取り組んだ日立鉱山の角弥太郎氏、地域住民を代表して交渉役を務めた関右馬允氏らをはじめとする先人達の労苦を、後世に生きる我々は決して忘れてはならない。

日立の礎を築いてきた先人たちのためまめ努力に思いを馳せながら、煙たなびく煙突を見上げる。

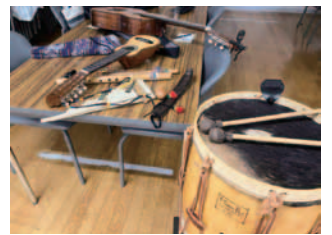
エッセイ ⑪

私とフォルクローレと  
Paso a Pasoの仲間たち  
八木 健二



八木 健二(やぎ けんじ)

今年6月から後期高齢者！だが、仕事も趣味も生涯現役を目指す！これが若さを保つ秘訣かな？  
奉仕活動は、ボイスカウトに40年余り加盟員登録しているが、いまは裏方である。また、ロータリークラブのメンバーで、毎週火曜日の例会時にメンバーと会うのが楽しみである。



練習前の楽器たち

代の伝承曲もスペインの侵攻後、西洋の音階が入ってきて軽快なリズムの音楽も演奏されるようになった。

器から奏でられる独特なリズムの楽曲が魅力の一つでもある。ケーナサークルでは演奏課題曲をきめて、5年ほど練習に励んできたが、指導者の都合により解散することになった。残った仲間と新しくフォルクローレのコンフロントグループを作った。Paso a Pasoを結成した。Paso a Pasoとは、スペイン語で「一歩一歩」「一歩ずつ」という意味である。名前のように一歩一歩上手になりたいとの願いを込めている。

グループも同じステージで演奏する。初心者グループにも温かい大きな拍手が送られる。これがこの音楽祭が長く続いている理由の一つではないかと思っている。  
Paso a Pasoを結成して6年目になるが、年に10回ほどの演奏する機会がある。吉田正音楽記念館の展望カフェで、田正音楽記念館の展望カフェコンサートに何回か出演させてもらっている。また、多賀市民プラザのギャラリーコンサートや茨城空港近くの「空のえきそ・ら・ら」やボランテア施設からの演奏依頼もあり、練習の励みにもなっている。中高年のグループだが演奏することがとても楽しい！グループ名の通り「一歩一歩」上手になりたいものである。

もうかれこれ15、16年前になるが、地域のお祭りのバザールで土産品のケーナ(南米竹の縦笛)を売っていた。このケーナで「コンドルが飛んでいく」が吹けるようになったら良いなあと思って買った。簡単にドレミファソの音が出せるだろうと思って、U字型の歌口に息を吹き込むけれど、リコーダーやハーモニカのような訳にはいかない。なかなか音が出ない、出せないのである。あきらめて、しばらく置きっぱなしにしておいた。

て、初心者用の簡単な曲を、楽譜を見ながら吹けるようになった。サークルのメンバーと合奏しながら、吹ける曲と楽譜が増えていった。この頃から、アンデス地方の音楽や演奏に用いる素朴な楽器に関心を持つようになった。フォルクローレとは、ラテンアメリカに伝わる民族音楽のこと、特にアンデス地方の伝承曲は日本の民謡と通ずるところがある。それは、5音階(ペンタニック)で、ドレミファソラシのファとソラである。4番目のファと7番目のシは無い、47抜き音階とも呼ばれている。

甲高い音を奏でるウクレレのような弦楽器のチャランゴ(いまは輸出入禁止で木をくりぬいた物を使っている)、リヤマの爪を布切れに縫い付けた打楽器のチャフチャフ。それと重要なリズムを刻むクラシックギターである。フォルクローレにはボリビアやペルーなど地方によってそれぞれ独特なリズムが伝えられている。これらの素朴な楽

演奏する曲は各グループ2曲であるが、この日のために練習に励んでいるようである。今年で46回目の開催だったが、初心者グループもベテラン

演奏する曲は各グループ2曲であるが、この日のために練習に励んでいるようである。今年で46回目の開催だったが、初心者グループもベテラン

大久保交流センターにケーナのサークルがあることを知り、さっそく入会した。しばらく通うようになった。



吉田正音楽記念館の展望カフェにて

呼ばれている。47抜き音階とも呼ばれている。

演奏する曲は各グループ2曲であるが、この日のために練習に励んでいるようである。今年で46回目の開催だったが、初心者グループもベテラン



上: コスキん会場前にて  
下: コスキんステージでの演奏

### さまざまな文化に触れよう! 日立市文化少年団ご紹介 5

日立市文化少年団をご存じでしょうか?日立市では現在25の文化少年団がさまざまな分野で文化活動に取り組んでいます。どの団体も幼少期から多様な文化に触れ、日本の伝統文化や新しい生活文化を学ばせることを目的としています。また、次世代への文化の継承という意味でも文化少年団は大切な役割を担っています。毎号2団体ずつ、本誌面で紹介していきます。

### 日立ふるさと文化少年団

私たちが日立ふるさと文化少年団は、現在小学校3年生から6年生までの計25名で活動しています。

この少年団は、平成9年に発足してから今年で27年目となり、郷土や文化にふれあう体験をたくさん行ってきました。その中から主な活動を二つご紹介いたします。

一つ目は「土器」づくりです。はるか昔の製法を体験するため、ろくろなどの道具は使わずに手作業で器の形を作っていきます。子どもたちは、各々が好きな模様や装飾を付けて世界で一つだけの土器を完成させます。

### 日立ふるさと文化少年団の案内

日 時	原則毎月最終土曜日 9:00～12:00 (活動内容によって変動有)
会 場	郷土博物館ほか (活動内容によって変動有)
会 費	7,000円/年
参加資格	市内小学3年生から中学3年生まで
問合せ	日立市郷土博物館 0294-23-3231

二つ目は「化石発掘体験」です。日立市内の海岸で採れる岩石から、貝やウニなどの化石を探し出します。令和3年度から始まったばかりの新しい活動ですが、本物の化石にふれることができる貴重な経験なので子どもたちにはとても人気があります。

これらの他にも、普段の生活では体験できないような活動をたくさん行っています。興味のある方はぜひご参加ください。  
(事務局) 鈴木 恒志



### 日立少年少女発明クラブ

日立少年少女発明クラブは、平成9年7月12日に発足し、「ものづくりを通して、人間性豊かな人づくりを行う」を基本理念に掲げ、発明工夫の楽しさと創造する喜びを体験し、ものづくり活動を通して、創造性豊かな人間形成を図ることを目的として活動しています。

現在は、小学3年生から中学3年生までのクラブ員63名が在籍し、学年や技量に応じて、4クラスに分かれ楽しくものづくりを行っています。

活動では、割りばしや輪ゴムなどを使った簡単な工作から、電気回路やモーターを利用した装置作り、そして、設計計画の立案から製作まで全てを自ら行う作品製作など、様々な内容の製作に取り組むことができます。

ものづくりに興味がある皆さん、ぜひ一緒に活動しましょう。お待ちしております。

### 日立少年少女発明クラブの案内

活動日時	原則毎月第2日曜日(午前9時30分から正午まで)
活動場所	日立シビックセンター6階クラブ室ほか
入団条件	小学3年生から小学5年生まで
会 費	4,000円/年
申 込	例年2月下旬に募集を行います。 ※詳細は、2月20日号市報を御覧ください。
問合せ先	日立少年少女発明クラブ事務局 日立市生活環境部女性若者支援課 〒317-0073 日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター 6階 TEL: 0294-26-0315 FAX: 0294-26-0317 E-mail: josei@city.hitachi.lg.jp



### 104 日々を詠む

《選・評 櫻村 奎子》

面会の終りをつげるチャイムまで  
夫に付き添う黙して付き添う

沼田 美智子

高齢化社会と言われる今、介護の問題は避けて通れぬものとなった。九十二歳の夫を見舞う日々、チャイムの音はきょう一日の無事に安堵する時でもある。 「付き添う」のリフレインに作者の心情が滲む。

(令和五年の市民短歌大会入賞作品)

# My 仕事

常に笑顔で「笑売」しています！

株式会社あかつ水産  
水木本店 店長  
**渡部 恭史**さん  
(水木町)

太平洋に面し水産資源が豊富な日立市。そこに住む私たちは日々新鮮な魚介類を食べる機会に恵まれているが、一方で関係者の生の声に触れることはほとんどないのではないだろうか。今回取材に応じていただいた渡部店長、インタビュー中は物静かな語り口であったが、魚を捌く時の表情はうかつに声をかけられないほど真剣そのもの。その姿勢から魚への想いを窺い知ることができた。



店長の渡部さん

あかつ水産はここ水木本店と久慈浜のおさかなセンター店、それと日立駅前今年オープンしたヒタチ工店の三店舗で展開しています。日立市内の久慈浜や河原子といった漁港の競りで鮮魚を買い付け、店頭並べ販売します。

日立の海ではさまざまな種類の魚介が水揚げされます。よく出回るのはメヒカリやノドグロ、ボタン海老、アンコウなどですね。水タコはこのところ揚がる量が少なくなってしまうのですが、競りで回ってきた時はできるだけ買い付けるようにしています。獲れる魚の種類は季節によってさまざま、少し前までは三陸沖から降りてくる戻りガツオがよく揚がりましたし、夏の時期には伊勢海老やアワビも出回ります。日立の沖合はちょうど黒潮と親潮がぶつかる海域で、ここで獲れるヒラメやウニ、真鯛などは常盤ものといって、豊富なブランドトンのおかげで脂がのつても美味しいんです。常盤ものは品質の良い魚介として市場でも高く評価されています。もちろん日立のお客様にも好評で、例えば天然のクワマグロと白身魚、そしてカツオといった日立の沖合で獲れた地物の魚を刺し盛りで出すと大変喜ばれます。

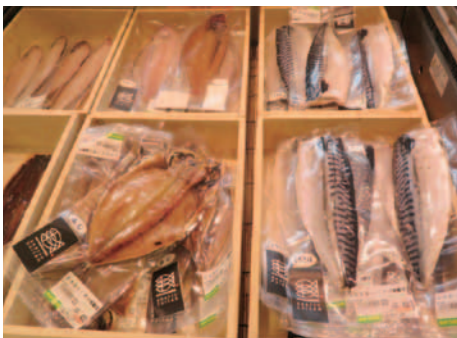


店内で干物に加工

店を取り扱っているのは鮮魚だけではありません。これから寒くなってくると本柳(ヤナギムシガレイ)の身がぐっと厚くなって美味しさが増します。そうした時期を見計らって店内の設備で干物に加工し、あかつ水産のブランドとして店頭並べています。本柳のほかアジやサバ、サンマなども干物に加工して販売しています。また、新型コロナウイルスが流行拡大期に入って私たちのような食料品店が苦境に立たされていた頃、周辺のお店同士で助け合おうという話が持ち上がりました。松光さんの卵焼きや光力さんの唐揚げなどを店頭に



店内には鮮魚・刺身がズラリ！



あかつ水産ブランドの干物

玉イベントのあんこうの吊るし切りとマグロの解体ショーはたくさんの人でかりで、あんこう汁やマグロの切り身を多くの方が買い求めました。コロナの勢いが下火になってから初めて開催した大がかりなイベントでしたが、こちらの予想を上回る大盛況で、急遽本店で加工した商品をおさ

並べるようになり、それがぎつかけで近所のお店の商品の陳列を今も続けています。

令和六年に水木本店の改装を予定していて、現在の準備を進めています。厨房や陳列スペースのレイアウトを変えて、お客様がより入りやすく、商品を手に取りやすくなる店づくりをする予定です。リニューアルしたあかつ水産へ、ぜひ足を運んでいただけたらと思います。

私たちが常に心掛けているモットーに、「常に笑顔でお客様に接する」というものがあります。笑顔で接客していた方が、お客様の立場でも気持ちよく買い物ができて、また買いに来ようと思えるじゃないですか。商売は「笑売」であると、私たちは信じています。



あんこうの吊るし切り(旬漁祭)

# ふるさと探訪パートⅡ- 85

## 日立で発見されたアオノウラシマソウと 保存会の取り組み

小澤 英樹 (アオノウラシマソウ保存会会長)



アオノウラシマソウはウラシマソウの花弁の茶色い色素が脱色して黄緑色になった突然変異種です。素心ウラシマソウと言われています。植物愛好家からは喉から手が出る一品とも言われています。その訳は希少価値です。平成元年にNHKテレビで紹介され、植物研究家の水野辰司博士によって、阿武隈山系の自然の中の空の青と豊かな森

の青、更に海の水の青の三つの青にかこまれて突然生まれた花という事で『アオノウラシマソウ』と命名されました。

ウラシマソウはサトイモ科ナンシヨウ属の球根の多年草植物です。花から伸びている長いヒゲが浦島太郎の持つ釣り竿に似ているからこのことです。この長いヒゲに添って虫が誘われて花粉を運び受粉を助けます。雄花、雌花があり、雌花はトウモロコシ状の果実を付け、秋口には、朱赤色になります。北海道、九州の一部、本州、四国の全域に分布している見慣れた植物です。

昭和五十五年の春に高鈴町在住の永沼輔・宗一郎様親子によってウラシマソウの突然変異種が二株、旧平沢町で発見されました。そのうちの一株の育成

を依頼された松岡秀哲氏が試行錯誤して球根の増殖に成功して、平成二年四月、松岡氏を会長に、日立地区の特産植物として保存育成することを目的として、アオノウラシマソウ保存会が会員数三十八名で発足しました。

平成四年四月に日立地区文化協会の日立盆栽連盟に加入して、第一回の展示会「アオノウラシマソウと山野草展」を日立市民会館で開催後、毎年四月同所にて展示会を開催し、平成七年度の第四回展示会から松岡会長から丸山恵美子会長にバトンタッチされました。平成二十二年四月の第十九回展示会より小澤英樹が会長を引き継ぐこととなりまし

た。東日本大震災とコロナ禍の時期を過ぎ毎年、展示会を同所で開催して、アオノウラシマソウを多くの人



アオノウラシマソウ



「アオノウラシマソウと山野草展」のもよう

に知ってもらう活動を行っています。

今年も第二十七回目の展示会が開催されました。会員数は減りましたが先輩が残してくれたこの保存会を継続することが地域の豊かな自然を守ることに繋がると信じています。日立市で突然変異のウラシマソウが発見されたことは貴重な自然環境からの贈りものと言えるでしょう。今ではバイオテクノロジーの技術で種子メーカーから色々な変わり花が発売されていますが、アオノウラシマソウは、四

十三年物です。興味のある方は、新潟県奥只見湖の紅葉見物は、お待ちしています。

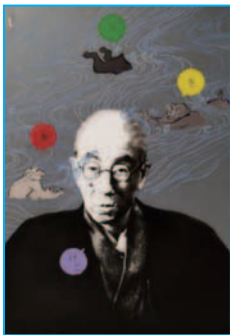
は、新潟県奥只見湖の紅葉見物は、お待ちしています。

# デザインとの出会い

— 後藤 弘文 —

## ② デザインの歴史

元日立市立豊浦小学校校長。市内の小中学校で美術科を教える傍ら、自らもアーティストとして作品制作に取り組む。茨城県近代美術館を始め展覧会等文化行政に従事。日立市美術展覧会を始め多数の展覧会に出展。



卒業制作 1978年作

デザインという言葉聞いて、どのようなことをイメージするだろうか。以前は、あまり聞きなれない特別な言葉であったが、現在では生活全般に満ちあふれている。

スポーツウェアは体育着の用途から完全に自由になり、日常着としても利用され、そのデザイン性の良さが闊歩しているように見える。

異なる個性の数だけデザインは多様化している。

そもそも、この「デザイン」とは何か。「下」(d e) 印をつける (s e e)「下」(d e) 印をつける ①下絵 ②製品の材質・機能および美

的造形性などの諸要素と、技術・生産・消費面からの各種の要求を検討・調整する総合的造形計画を意味する。(広辞苑)

デザインの歴史はまだ浅く180年ほどで、十八世紀後半のイギリスの産業革命から始まる。機械化により大量生産が可能となるが、手仕事と違い粗悪品が流通することに対し、ワイリアム・モリスによる復興運動が盛り上がった。フランスでは、二〇世紀にかけ、アーノルド・ヌーボールの曲線様式が大流行する。さらに第一次世界大戦後、ドイツでは芸術と技術を統一するバウハウス運動が起こり、その教育理念は今でも生き続けている。



「1999ヒバク」2000年 十河雅典

デザインは一部の人間から大衆へとその野を広げていく。

日本では、戦後の高度経済成長期に、デザインは急激な発展を遂げ、特にアジア初の東京オリンピックで、ピクトグラムやポスターなどが国際的に脚光を浴び成長した。

今日では、超高度情報社会に変化するなかで、高度に発達した生成AIは、膨大な情報を読み込み学習し、創作分野まで踏み込んできた。

地元の大学で教育系美術として、絵画、彫刻、工芸、美術史等を幅広く学んだ中で、私が最終的に専攻したジャンルは「デザイン」である。教授の十河雅典氏から受けた影響は大きく、その発想力と表現力に圧倒された。

今でも記憶に残る授業が二つある。一つは、様々な素材の特性を生かし、卵を割らずに運搬する梱包方法をデザインする授業には悪戦苦闘した。

もう一つは、絵本作りの授業である。もともと絵本は絵を読み解く本であることから、文章はない。めく



絵本「さるどんのしっぽ」1978年作

る度に次々と展開する絵本を追求した創作体験は、貴重である。自分なりにつかんだデザインの価値は三つ。目的性と社会性と自由性である。

目的性とは、誰のために、何のために創作するかを明確にすることである。次に、社会性とは、制作することで社会にどのように役に立つかという命題である。最後に、自由性はこだわらない豊かな発想力を駆使することである。常に好奇心旺盛にして社会の話題に敏感になり、アンテナを高く立て受信力を鍛えることにある。柔軟な発想力が求められる。独自のアイデアを発信するには、9割が社会観察に尽きる。天からのひらめきが舞い降りるのは、一瞬である。逃げないようにするための愛・ディア帳を常に持ち歩き、ユーモアに満ちた愛が必要である。これらが三位一体となり整ったときは、実に満足できる作品となる。

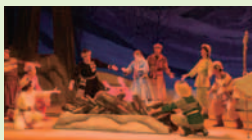


「時」1977年 公募展初入選作

### 日立市民会館 催し物ご案内

#### 劇団仲間「森は生きている」

日時 1月28日(日)午後3時開演  
会場 日立市民会館ホール  
料金 全席指定 一般 3,000円  
高校生以下 1,000円  
親子ペア 3,500円



問合せ 日立市民会館 0294-22-6481

1959年初演以来、2,100回を超える上演回数で全国の子どもから大人までを魅了した感動の名作です。

#### サンミュージックお笑いまつりin日立

日時 1月20日(土)午後3時開演  
会場 日立市民会館ホール  
料金 全席指定 S席 3,500円  
A席 3,000円  
(当日券各200円増し)



出演 小島よしお、ぺこぼ、ガリベンズ矢野、三拍子、ぼんぼこほか  
問合せ 日立市民会館 0294-22-6481

**常陸国**  
**まつり歩き**  
ながえ よしはる  
**長江 慶治**

④ **悪態まつり**  
茨城県内にはユニークな祭礼が数多存在する。  
そうしたお祭りを多数渡り歩き、造詣の深い長江慶治氏にその中からいくつかを本誌面でご紹介いただく。

常磐線岩間駅から西に3kmほど離れた愛宕山の山頂付近に愛宕神社があり、その奥に飯綱神社があつて十三人の天狗たちが鎮座している。

ここで、毎年十二月の第三日曜日、八百年も続いている「悪態まつり」がおこなわれる。氏子が扮する天狗たちに、人々が「偉そうにするな、バカヤロー」「もつと給料をよこせバカヤロー」「もつと速く歩けバカヤロー」などと口々に罵倒しまくる奇祭だ。

笠間市のホームページでは、この祭りの起源を、怨霊や疫病を退治する「悪退」や領主が住民の不平や不満を「悪態」の中から探ろうとした、などと説明しているが、私には日々虐げられてきた住民が一年のうちこの日だけ、心の底から支配者たち



飯綱神社にある十三天狗祀



無言の行に入る天狗たち

に向けて不満を爆発させるうつぶん晴らしのまつりに思える。飯綱神社の裏には天狗を祀る十三基の祠があり、それぞれの祠には、竹筒に入れた甘酒と鮎とが捧げられている。

ここに祀られている天狗に扮した十三人の氏子たちは、祭りの間中、なんと罵倒されても一

言もやり返すことができないという無言の行(ぎよう)を強いられる。  
天狗たちは、愛宕山の麓から十六ヶ所の祠にお供え物をしながら山頂の飯綱神社に登ってくる。それぞれの祠では、天狗たちがお供えした供え物を人々が奪い合う。



山を登る神官と天狗たち

そのお供え物を持ち帰ると一年間の「無病息災」「家内安全」「五穀豊穰」の御利益にあずかれるというのだ。そこで熾烈な争奪戦が繰り広げられ、ときには喧嘩騒ぎも起こってしまふ。私も年甲斐もなく何とか供え物を手に入れようと、まずは何か所かの祠の前で争奪戦を観察した。まだお供えの行事が終わっていないうちに手を出して

しまつと、天狗たちが杖でたたかにその手を叩く。大抵の場合、焦った何人も人が手を出し、一斉に手を叩かれる。その手をさつと引つ込めた瞬間がこちらのチャンス。この法則を何度も確認してから、乾坤一擲の勝負。



天狗や神職たちが行う餅まき

日立シビックセンター・多賀市民会館 催し物ご案内

福間 洸太郎コンサート ~ショパンとショコラ~

日時 2月11日(日祝)  
午後2時開演  
会場 日立シビックセンター  
音楽ホール  
料金 全席指定  
一般 3,500円  
高校生以下2,000円  
問合せ 日立シビックセンター 0294-24-7720

ひたちっ子わくわく劇場

多賀の街で小さなお子さんから大人まで楽しめる演劇ワークショップを開催します。

①まち歩きナゾさがし

日時 2月10日(土)  
午前11時~午後3時30分  
会場 多賀市民会館及び周辺地区  
料金 1人 500円  
対象 小学3年生~中学2年生とその保護者  
問合せ 多賀市民会館 0294-34-1727

②紙であそぶ桃太郎

日時 2月11日(日祝)  
午前10時~午前11時  
会場 多賀市民会館  
料金 1人 300円  
対象 2歳以上園児~小学2年生とその保護者  
問合せ 多賀市民会館 0294-34-1727

# ニューイヤーコンサート2024 ～新年を彩る“歌”の祭典～

2024年最初の

コンサートは、歌で幕開け!

「オペラ」日本の歌「ミュージカル」など様々なジャンルの名曲で新年を祝います。

## ◆出演者も色とりどり◆

ソリストは新時代のディーヴァ小林沙羅と稀代の大型テノール西村悟。ピアノは、声楽伴奏のスペシャリスト河原忠之。更にひたちオペラ合唱団、茨城キリスト教学園高等学校コーラス部、NHK水戸児童合唱団がステージを華やかに彩ります。

## ◆出演団体からのコメント

多くの皆さまにオペラの楽しさを知っていただき、そしてそれを創



り、育  
ててい  
く仲間  
を増や  
して、  
日立の  
まちに  
オペラ  
の大き  
な花を  
咲かせ  
ること  
が私達  
の願い  
です。

茨城キリスト教学園高等学校

コーラス部



私達コーラス部はコンクールでの上位大会を目指すのはもちろん、毎朝の礼拝の賛美歌にも声を響かせています。素晴らしいホールで、皆さまの心に私達の歌声が届くよう一杯歌います。

## NHK水戸 児童合唱団

2004年  
茨城県域デジ  
タル放送開始  
を記念して設  
立され、今年

## ニューイヤーコンサート2024

～新年を彩る“歌”の祭典～

日時 1月6日(土) 午後2時開演  
会場 日立シビックセンター  
音楽ホール  
料金 全席指定 一般 2,000円  
高校生以下 500円  
問合せ 日立シビックセンター  
0294-24-7720

## 私たちの文化のバックナンバー

財団HPにて  
好評掲載中!



(<http://www.civic.jp/hitachi/magazine>)

で19年目を迎えました。「地元  
愛される歌声」をモットーに  
県内外にて幅広い活動を行って  
います。ニューイヤーコンサート  
2024で歌えることを楽しみに  
練習しています。



## 編集後記

■九月上旬の台風十三号の被害に遭われた方々へ、心よりお見舞いを申し上げます◆日立でこれほどの激しい雨が降り注ぐことはなかった。多くの人が同じように感じたのではないだろうが。全国的にも日立は気候が温暖で過ごしやすいたことが大きな長所と感じていただけに、今回の災害はショックであった■全国各地で頻繁に自然災害が発生する昨今。他県の被災ニュースをどこかテレビの画面の中の出来事と捉えていたが、今回の一件で一気に切迫感が押し寄せた◆思案した結果、拙宅の火災保険にも水災オプションを追加することにしました。備えあれば憂いなし、だが何も起こらないに越したことはない。(A)

## 表紙の写真



大雄院の大煙突は、私たちの文化の表紙でいつか取り上げたいと思っていたテーマの一つである。映画や演劇などで度々扱われ、真新しさには少々欠けた題材かもしれないが、それでも日立の歴史を振り返る上で外せないものである。地域史に触れることの少ない若い世代に少しでも関心を持ってほしいという思いから筆を取った。

写真は日高町の渡辺義雄さんによる撮影。ふるさと日立カレンダー応募作品より拝借しました。

発行 公益財団法人日立市民科学文化財団  
「私たちの文化」編集委員会

〒317-0063 日立市若葉町1-5-8 日立市民会館内  
TEL 0294-22-6481 FAX 0294-22-6633  
HPアドレス <http://www.civic.jp>

※ご意見・ご感想をお寄せください。

